

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
今号は以下の内容でお送りいたします。

★—INDEX—★

- [1] 【三役コラム】 新型コロナワクチン接種の取り扱いについて
- [2] 【航空局】〔補足〕 特定操縦技能審査実施要領等の改正について
(航空運送事業者に所属の場合の署名の合理化)
- [3] 【航空局】 横田飛行場周辺を飛行する VFR 機の安全確保について
- [4] 【航空局】 航空身体検査証明申請システムの運用開始について
- [5] 【航空局】 小型航空機の安全対策の推進～Twitter アカウントを開設しました～
- [6] 【航空局】 「航空機乗組員飛行日誌記入要領」の一部改正について
- [7] 【VOICES FEEDBACK】 <①ACORN? BACON? > <②強風でのエンジンスタート>
- [8] 【お知らせ】 セミナー・イベント
- [9] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内
- [10] 【お知らせ】 協会事務局の勤務体制について
- [11] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

- ★—————
[1] 【三役コラム】 新型コロナワクチン接種の取り扱いについて

★—————

いよいよ、職域（従業員数 1,000 人以上）における新型コロナワクチン接種が始まりましたね。これをきっかけに、多くの皆さんのワクチン接種を受けるタイミングが早まる事を期待しているところです。

さて、以前もメルマガでお知らせしたと思いますが、航空機乗組員におけるワクチンの接種には、「航空機乗組員の使用する医薬品の取扱いに関する指針」でその取扱い（指針）が定められています。改めて、要点のみを記載いたしますので接種及び接種後の対応についての参考になさってください。

- ・ 予防接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した

上で、接種を受けること（が望まれる）。

- ・新型コロナワクチン『接種後、48時間は航空業務を行ってはならない。』

※インフルエンザなどの予防接種は24時間ですのでくれぐれもお間違えのないようにお願いいたします。

詳細については、JAPA ホームページをご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/5925>

皆様のご健康と新型コロナ感染症の沈静化により活気ある航空が一日も早く戻ってくることを心より願っています。

★—————

- [2] 【航空局】〔補足〕特定操縦技能審査実施要領等の改正について
（航空運送事業者に所属の場合の署名の合理化）

★—————

航空局 運航安全課より、特定操縦技能審査実施要領等を改正した際の詳細について、問い合わせを受けた内容および回答について連絡いただきました。

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/6131>

★—————

- [3] 【航空局】横田飛行場周辺を飛行する VFR 機の安全確保について

★—————

航空局 運航安全課より、米軍の高高度滞空型無人偵察機（グローバルホーク（RQ-4））について、周知依頼がありましたので以下の通りお知らせします。当該グローバルホークは本年5月22日から11月30日までの間、横田飛行場に一時展開される予定です。

遠隔地からの無線操縦及び自立飛行プログラムにより無人での飛行を行うことから、VFR 機操縦者の皆様が一層の安全を確保するための周知となります。

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/6134>

★—————

[4] 【航空局】 航空身体検査証明申請システムの運用開始について

★—————

航空局 運航安全課より、令和3年3月19日付けの事務連絡にて、ご案内しておりました航空身体検査証明申請等の電子化につきまして、令和3年5月31日からシステムの運用を開始する旨連絡を受けましたので、お知らせします。

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/6107>

★—————

[5] 【航空局】 小型航空機の安全対策の推進～Twitter アカウントを開設しました～

★—————

航空局 運航安全課より、小型機運航者の皆様へ情報発信（第47号：令和3年6月）がされましたので、お知らせします。

航空局では、有識者や関係団体等を交えて小型航空機の安全対策の構築に係る調査・検討を行い、新たな安全対策や安全啓発活動等の取り組みを推進するため、平成28年12月に小型航空機等に係る安全推進委員会を立ち上げ、以降当該委員会を定期的に開催してきました。

本年4月28日、第9回小型航空機等に係る安全推進委員会を開催し、安全啓発のための情報発信を強化するため、従来の安全講習会の開催、安全啓発リーフレットの作成・配布、メールマガジン（このメールのことです）の発信等の取り組みに加え、安全啓発のための滑空機の動画作成やTwitterによる情報発信などの報告を行いました。また、操縦士の技能維持・向上に向けた指導監督の強化、簡易型飛行記録装置（FDM）の、事故調査や技量訓練・審査などへの活用可能性を検証していくこととなりました。

今後も、同委員会における有識者や関係団体等の意見を踏まえつつ、小型航空機の一層の安全対策を推進して参りたいと思います。

【第9回小型航空機等に係る安全推進委員会】

https://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk10_00081.html

【Twitter】アカウント名：(航空局運航安全課小型機安全担当)

https://twitter.com/mlit_kogataki

【滑空機動画】

https://www.mlit.go.jp/koku/koku_fr10_000048.html

<https://www.japa.or.jp/6151>

★—————

[6] 【航空局】「航空機乗組員飛行日誌記入要領」の一部改正について

★—————

航空局 運航安全課より、6月2日付「航空機乗組員飛行日誌記入要領」の一部改正について連絡を受けましたのでお知らせします。

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/6107>

★—————

[7] 【VOICES FEEDBACK】 <①ACORN ? BACON ? > <②強風でのエンジンスタート >

★—————

<①ACORN ? BACON ? >

羽田 LDA W RWY22 を実施中の APCH にて、SPENS を過ぎてトラフィックのために Heading を振られ、“Vector to ACORN. DES and Maintain FL200” の指示がありました。TCAS を見ると自機の南にもいくつかターゲットが写っていて、混雑が予想されました。しかし、いずれ来る Direct ACORN DES via STAR 13,000 の指示に対しては、追い風、高い QNH の影響もあり、場合によっては高度制限をクリアするのは厳しくなるかもしれないと考えていました。ほどなく後続機が同周波数に入ってきました。後続機に対する ATC の指示は“Vector to BACON, Maintain FL220”と聞こえました。さらにその後ろのトラフィックに対しても“Vector to BACON”と言っているのが聞こえました。我々の指示も

「BACON」だったのでは？との疑念が生じてきたころ、後続機のどちらかが「Confirm VECTOR to ACORN or BACON？」と確認し、BACON であるとの ATC のやり取りが聞こえました。

これで完全に、自分たちの指示も BACON だったに違いないと一旦は思いこんでしまいました。しかし結果としては、我々への指示は ACORN で、程なく“Direct ACORN DES 13,000Cross ACORN At or Below FL150”となりました。QNH が 3037 でしたので、切り替えのタイミングに気を遣わねばならず、これはこれで Threat でした。

それよりも、「疑わしきはコンファーム」にもかかわらず、いったんは思い込んでしまった自分に対してヒヤリとした次第です。ACORN の高度制限が比較的タイトなので、似たような発音の ACORN と BACON を取り違えると、すぐに UAS に結び付きかねません。ポイント名の改善が必要かもしれません。

★VOICES コメント

〕 BACON と ACORN に関しては同様な報告もあり、改善が必要かもしれませんね。（FEEDBACK 2020-02-50 参照。）

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2020/12/FEEDBACK-2020-02.pdf>

<②強風でのエンジンスタート>

30036G48 ktの強風のため、担当整備士はエンジンスタートするまで、ブレードを手で支持していなければならない状況でした。整備士がローターから手を離し、ローターが回転を始めた瞬間、強風でブレードが下方に大きく下がり、そのまま後方へ回転して行ったのを見て、本当にテールブームをヒットするのではないかと肝を冷やしました。外から見ていた人の話では、前方で下がったブレードは後方で上がり、どうにかうまくテールブームをヒットせずに低回転域を抜けることができたそうです。なお、強風時は地上滑走せず、ホバリングで移動したほうが良いという先輩のアドバイスで無事に離陸することができました。

★VOICES コメント

〕 強風時のローター始動には神経を使うものです。風には強弱の波があり、弱いタイミングで行えば良いのですが難しいのも事実です。このような場合、機外に配置している整備士から風の情報を得ながら対応することも大切ですね。

★—————
[8] 【お知らせ】 セミナー・イベント



《Fly with us～空の仕事ワークショップ～》

2021年6月26日(土)<宮城>

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=4>

このイベントは航空に係る仕事に興味を持っていただくことを目的に航空各社や、航空局の協力を得て、航空機操縦士、客室乗務員、旅客担当者、航空管制官の「空の仕事ワークショップ」を行います。

皆様にイベント内容を、より分かりやすくお伝えするため、2021年4月より「Yes I Can 航空教室」から、「Fly with us～空の仕事ワークショップ～」へイベント名称を変更しました。



《航空安全講習会》

2021年6月26日(土)<熊本>

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>



《RNAV 講演会》

2021年6月20日(日)<オンライン開催>

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>



《セミナー・講習会受講に際しての注意事項》

JAPAが主催するセミナー・講習会等のイベント開催につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するためご参加のみなさまへの注意事項や連絡事項を取り決めいたしました。

セミナー・講習会へのご参加にあたりましては、以下内容をご確認いただきますようお願いいたします。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2020/06/japa20200618.pdf>

尚、その他のセミナー・イベント情報に関しましては随時ホームページ及びメールマガジン等でご案内致しますので、少々お待ちくださいますようお願い申し上げます。

★—————

[9] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内

★—————

【新発売】

- ・ JAPA-255 (関西・高松) 第7版
- ・ JAPA-505 (中国・四国) 第5版

ご注文については以下 JAPA SHOP をご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>

★—————

[10] 【お知らせ】 協会事務局の勤務体制について

★—————

協会事務局では首都圏での新型コロナウイルスへの感染リスクを考慮し、今後の勤務体制を以下の通りといたします。

期 間：6月15日(火)～(終了に関しては別途お知らせいたします。)

出勤日：月曜日-金曜日(祝日を除く)

時 間：10:00-16:00

★—————

[11] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★—————

JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、

JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、
ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページより、ご覧ください。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member.japa.or.jp/member>

* * * * *

★次回の配信は7月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法
については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
